我々にキャンプの魅力がまた再燃してきました!

アトム福大前 VIEW通信

2018年10月03日 第31号

●阿蘇大観峰にて、左がユキ、右はカナです

■今年のシルバーウイーク後半(9/22~24)もキャンプに行くことにしました!

先月号も南阿蘇と南小国のキャンプ場レポートでしたが、実を言うと少々フラストレーション気味でした。大変な装備が必要なのに一日で撤去してまた次の場所で設営するなど、面倒くさくて普通はやらないと思います。そして二日目は初めて行く期待の南小国のキャンプ場だったのですが、地面の埃がひどく、とてもゆっくり過ごせる場所ではなかったのです。それで次はしっかり調べて行こうということになりました。それとゴールデンウイークやシルバーウイークはどこに行っても高額だし、我々の様にワンコと泊まれるところはとても少ないので、安上がりのキャンプにすることになりました。

今回は阿蘇の産山村の「ファームビレッジ産山」です。夏のキャンプから帰ってすぐ予約しましたがどこも多く、第三候補のこの場所をやっと予約できたのでした。皆様にも今回の快適なキャンプ旅行をご紹介したく、今月は2ページにわたってのご報告です!

■両親も一緒に出発して、キャンプ場の雰囲気を味わい、夕食後福岡へ戻る計画です。

せっかくだったら一緒にキャンプしようよ!と両親も誘いましたが、やはり寝るところやトイレなど、猫のことも心配だし、夕食だけ一緒にして帰ろうと言うことで、車二台で出発しました。前日まで不安定な天気もようやく回復し、素晴らしい天気です!

大分道を通って日田まで行き、杖立温泉経由で阿蘇の大観峰に寄って行くことになりました。数日前までとっても暑かったのがウソのように、すがすがしく心地よい天気。両親は九重高原から阿蘇五岳を眺望できる大観峰に初めて来たそうで、とても驚いていました。

■左から涌蓋山~九重高原方面そして阿蘇五岳が眺望できました。気温は19度。半袖では少々肌寒く感じました。

大観峰から一路産山村へ、連休の割にはどこも混雑は見られませんでした。産山村は牧草地帯で大きな牧場があります。牧場もキャンプ場も同じ経営なのか隣接していました。またアスレチックやパークゴルフ場もある「うぶやま牧場」というこれまた素晴らしい眺望の施設があり、放し飼いのヤギが公園内を歩いていました。犬たちは驚いて吠えていましたがヤギは堂々としたもので、チラ見しただけでゆっくり歩いていきました。また比較的近くに道の駅「なみの」があり、ここがまた素晴らしい!とても新鮮な野菜と果物、クリやナシ、福岡では高価なぶどう「ピオーネ」も驚く安さでした。それと絶対お薦めが「そばのふりかけ」と「そば茶」、お土産に最高です!

■うぶやま牧場は入場料無料、トイレもきれいだしソフトクリームも美味しいところでした。ヤギとロバに犬たちびっくり!芝生がきれいな牧場です

■トリッキーなコースと言われているパークゴルフ場。■道の駅「なみの」は新鮮な野菜果物がたくさん、横に蕎麦屋さんがありましたが、これも絶品!

■目的地は阿蘇郡産山村の「ファームビレッジ産山」初めて行くオートキャンプ場(車の横にテントを張れる)です。

キャンプ場は小さな子供さんがいる家族連れもいますが、熟年夫婦の二人キャンプをよく見かけます。不思議と若者同士は少ないようです。そばに宿泊施設の旅館などがある所では、夜はカラオケしたり騒いだりする声が聞こえましたが、キャンパーだけのキャンプ場はとても静かなのです。夕方早めから食事の用意を始め、片付けが終わると火や明かりの周りで、静かに会話をしている人たちが多いのです。

初日は両親のために、いつものバーベキューではなく、串揚げをしました。道の駅で買ってきた新鮮な野菜をサラダにし、串カツがとても美味しいと喜んでくれました。父と母もキャンプ場の雰囲気を十分味わえたと喜んでくれ、遅くなる前にキャンプ場を後に福岡に帰って行きました。ナビが頼りの二人が心配でしたが、無事到着の知らせにホッとしました。

■キャンプ場は平たい芝生で、真ん中に水場やトイレ、その周りを18のオートサイトがぐるっと囲んでいます

■快適なオートキャンプを目指して!ファームビレッジ産山は全16のサイト全てがオートサイトで電源付きです。

キャンプと言えばやはりテントを張り火を起こして飯盒でご飯を炊く、明かりはガスや灯油のランタンで、当然トイレも昔ながらの物で薄暗く、蚊の襲来にも耐え、冷たい水で洗い物が当たり前。冷たく固い斜めの寝床はなかなか寝付けない…と言うのが普通だと思います。

しかし!長年続けてきた我々にはもうそう言うキャンプは卒業しよう!思い切って快適なキャンプをしてみようということになりました。まだ一度も利用したことが無かった電源があるサイトにして、明かりはLED、今まで冷蔵や冷凍のために二つのクーラーボックスに高価なドライアイスを入れて二日間何とか持たせていましたが、今回小さな冷凍庫を積んで行くことにしました。実は前もって実験してみたのです。-20度まで下がった冷凍庫に氷を凍らせて、一度電源を切り何時間で氷が解け始め何時間で温度が上昇するか調べました。なんと24時間たっても、氷は残っており庫内温度も0度をなかなか超えないのです。冷凍庫がクーラーボックスと同じように保冷してくれるのです。キャンプ場に着いて電源を入れればまた凍るし家からキャンプ場まで数時間、まったく大丈夫でした。冷凍庫で複数の保冷剤を凍らせてもう一つのクーラーボックスを冷蔵庫として使えば、何日でも保冷と冷凍が可能なのです。寝床は昨年から利用しているエアーベッド、寝ていて目が覚めた時、一瞬家のベッドと間違うくらい快適です。オートキャンプ場は車を真横に付けることができるので、炊事道具やいろんな道具を車に置いたままで、必要な時に取り出します。それでテントの中は広々です。今回の様子をご覧ください。

■LEDの工事用ライトで明るくなりました! ■これが冷凍庫。車の後ろに収まりました ■モスボックスの引き出しです ■カセットガスは以前から使ってます

■エアーベッドは快適です! ■我々のサイトは車の左右と後ろが空いてました ■ステンレスの調理台がある炊事棟 ■洗面所もきれいです ■水洗トイレ完備

■カレーは自宅で作り冷凍で持ってきました ■一度やりたかった木陰で読書 ■すぐそばに栗がたくさん落ちてました! ■早速拾って、茹でたら、なんとこれが美味!

■本を読んでたら近くでポトリポトリと音がしました

■なんと栗の落ちる音がしてたのです!

■阿蘇の産山村付近と九重高原にはまだ知らないところがたくさんありました!

今まで南阿蘇を中心に高千穂方面はかなりいろいろなところまで行きましたが、阿蘇の産山村近辺は初めてです。二日目からキャンプ場を基地としてスマホを頼りにいろんなところに行ってみようということになり、まずは産山にある「ヒゴタイ公園」、高原にある春はハルリンドウ、夏はヒゴタイ、秋はコスモスと四季折々の花が咲いている公園です。入場料は300円でしたが、とてもきれいに整備された公園です。次に飲料水を確保するために「池山水源」に向かいました。無料で名水を汲んで帰れます。なんとこんな山の中まで韓国の観光客がバスで来ていました。最後は長湯温泉の「奥阿蘇の湯 やまなみ」で温泉を楽しみました。肌すべすべの軟水温泉で、これから何度も入りたい温泉でした。

■ヒゴタイ公園。芝生は整備され、入り口付近にはサルビアの花が咲いていました。■阿蘇五岳が同レベルで見えます。 ■池山水源。無料で水汲みができます。

■冷たくて美味しい水があふれていました ■奥阿蘇温泉やまなみ。無色透明のお湯ですが、入浴後お肌がすべすべに!

最終日は残念ながら朝から雨・・・。早々にテントを片付け、雨の中を次のキャンプ候補地の下見に九重高原へ行きました。しかし今回の産山は初心者、上級者とも楽しめる所で、まだ探索ができていない場所もあるので、来年の再訪を楽しみにして帰りました。

電源サイトは超楽勝!「今度は電子レンジも持って行こう!・・・」かな?「おとなしく家に居ろ!」って言われそう。